

第3期湯河原町観光立町推進計画について

【パブリックコメント意見】

No.	意見	町の考え方等	対応
1-1	町のホームページ等 観光情報の多言語化	・観光情報については、(一社)湯河原観光協会が運営する「湯河原温泉公式観光サイト」に集約するとともに、英語版を運用しております。その他の言語については今後検討させていただきます。	参考意見
1-2	町の紹介パンフレット 三つ折り1枚での作成 地域政策課との連携	・町の紹介パンフレットについては、(一社)湯河原観光協会が作成している「ゆがわらガイド&マップ」が本町の歴史や温泉、イベントなどを広く扱っており、内容の充実については今後も連携してまいります。	参考意見
1-3	吉浜海岸 サーファーへのさらなるPR、海水浴場としてのさらなるPR、ライフセイバーの常駐、安全対策PR	・吉浜海岸については、夏場の海水浴場期間以外にもサーフィンなどで訪れる方など1年を通じた観光資源であると認識しており、本計画においても基本方針1のひとつの要素として位置付け、推進してまいります。	参考意見
1-4	湯河原でのイベントPR出向 東京、横浜等でゆたぼん同行	・ゆたぼんについては、町内だけでなく、文化交流都市の豊島区池袋、県内の商工関係の行事において海老名での活動など町外PRとして様々な場所で湯河原を知ってもらうよう活動しており、取り組みを継続してまいります。	参考意見
1-5	イベント等広告PRポスター JR内掲示(東京等関東圏)、駅構内、車両内掲示	・イベント等広告PRポスターについては、本町の期間イベントである梅の宴ポスターをJR東海道線や小田急線の駅に掲出を依頼し、多くの方の目に触れる機会を創出しております。	参考意見
1-6	六方の滝等ハイキングコースの整備、六方の滝のPR	・六方の滝については、魅力的な観光資源である一方、コース上に険しい箇所があるなど安全面を考慮し、現在はご案内を控えている現状でございます。	参考意見
1-7	幕山、幕岩 クライマーへの情報PR発信	・クライマーへの情報については、本町の豊かな自然を活用したPRが可能な一方で、安全面に配慮が必要である箇所が存在することなど、必要な情報を発信する必要があるため、慎重な検討をしております。	参考意見
1-8	町の魅力 全体的にPR発信不足を感じます	・町の魅力や情報発信については、社会環境の変化にあわせ、様々なツールを用いて幅広い世代に情報を届ける必要があると考えており、手段や方法を研究し、官民連携し取り組んでまいります。	参考意見

No.	意見	町の考え方等	対応
2-1	古くから文豪に愛された町という歴史から、古本市を定期的で開催するのはどうでしょうか。その時にコーヒーやパンのお店に出店してもらい、「本とコーヒーとパン」というイベントにすると、幅広い年齢層にアピールできるのではと思います。パンはすでに美味しいお店がいくつもありますが、より価値を高めるには、本とコーヒーも中途半端なレベルではなく、本格的な内容にする必要があるかと思えます。(場所は、駅から近い場所、もしくは惣湯)	本町のこれまでの歴史や文化を継承し、湯河原らしい観光誘客に取り組む必要があると考えており、万葉公園のリニューアルに際しても、「Books and Retreat」と自然を感じ、本に没頭出来るようなテーマを持っております。古本市といった本町の歴史に沿ったご提案については、今後の参考とさせていただきます。	参考意見
2-2	宿泊施設のプランで、夕食無しに対応している旅館が少ないと感じます。夕食無しプランを増やして、宿泊費を下げることによって、若い人やリピーターが来訪しやすくなりますし、外食をする人が増えると、飲食店も増えると思います。(熱海はコロナ禍に、そのような対策で観光客が増えたと聞いています。)	官公庁が2017年に提唱した泊食分離については宿泊施設の営業方針に大きく影響するところですが、本町でも食事の提供をしない形式の宿泊施設が年々増加しており、町内の飲食店との連携が促進されているところです。旅行ニーズが多様化する中で、様々な方が本町の魅力に触れる機会を創出出来るよう取り組んでまいります。	参考意見
2-3	阿蘇の宮門前商店街のような、歩いて楽しい魅力的な町並み作り	本町の情緒ある温泉街の景観に配慮しつつ、町歩きが出来るイベントとして偶数月の第1土・日に実施されている「湯探歩(ゆたんぽ)」と連携及び情報発信に引き続き取り組んでまいります。	参考意見
3-1	<p>「外部企業の投資環境整備」および「吉浜エリアにおける官民連携によるランドマーク創出」について</p> <p>【意見の概要】 本計画案は財源の確保の手段として「宿泊税」の導入や、既存団体との連携に重点が置かれているが、「町外企業の投資を呼び込み、地域と調和させる戦略」が欠落している。単に東京の企業が収益を持ち出すだけの現状を打破し、企業のリソース(資本・ノウハウ)をまちづくりに還元させる仕組みが必要である。その具体的なモデルケースとして、町の玄関口である吉浜エリアにおける、既存レジャー施設(パチンコ店)の業態転換を含めた「シーサイド・シネマ」等のランドマーク開発を提案する。</p> <p>【具体的な理由と提案】 1.「外部企業の活力を地域に還元させる投資環境」の明記(第3章・第4章関連) 計画案の「基本方針4 マネジメント」において、DMOの設立や宿泊税の活用があげられているが、これらはあくまで「公的な枠組み」の中での話である。現在、湯河原には多くの東京資本が進出しているが、地域経済への波及効果や景観との調和という点で課題がある。計画には、「町外企業が湯河原に投資する際、地域のブランド価値向上に寄与するプロジェクト(例:歴史資源の保全、遊休資産の活用、文化施設の整備など)へ誘導するガイドラインやインセンティブ設計」を盛り込むべきと考えた。税収(宿泊税)に頼るだけでなく、民間の投資意欲を「まちづくり」に向けさせる戦略こそが、財政負担を減らし持続可能な観光地を作る鍵となる。</p>	<p>行政運営においては、様々な財源の獲得が必要となっており、本町において令和8年4月から導入する宿泊税を活用し持続可能な観光地として、訪れる人・住む人双方に魅力ある町づくりを推進してまいります。</p> <p>これまで大型会員制宿泊施設や自然を堪能出来る宿泊施設など、様々な事業者が本町の魅力や歴史・文化に沿った事業を展開していただき、本町の発展にご協力いただいているところでございます。</p> <p>ご提案の内容については、十分に研究させていただき、今後の参考とさせていただきます。</p>	参考意見

No.	意見	町の考え方等	対応
3-2	<p>2.吉浜海岸エリアにおける「官民連携による景観・コンテンツ改革」および「民間投資誘導施策」の提案 計画案の「基本方針2 環境整備」では景観保全が、「基本方針5 観光コンテンツ」では夜間滞在型コンテンツの創出が掲げられている。これらを象徴的に解決する具体策として、町の玄関口である吉浜エリアの再開発を提案する</p> <p>現在、車で来訪する観光客が最初に目にする吉浜海岸の景観は、海とパチンコ店という組み合わせになっており、リゾート地としての洗練さにかけているのが実情である。当該施設の運営母体(ジョイパックレジャー株式会社)は、映画興行(ヒューマックスシネマ)を関連事業に持つ企業である。パチンコ市場の縮小が見込まれる中、同社が持つエンターテインメントのノウハウを活かし、例えば「海辺の映画館(シーサイド・シネマ)」のような文化施設への業態転換が実現すれば、町のブランド価値は飛躍的に向上する。</p> <p>町が企業に対して一方的に要望や撤退を迫るのではなく、魅力的な選択肢を提示する。企業側から自らの経営判断として「業態転換」を選択したくなるような、数年後を見据えた長期的かつ戦略的な選択肢(インセンティブ)を提示する枠組みを計画に盛り込むべきである。</p> <p>具体的には、既存事業(パチンコ店)を継続する場合は現状通りの扱いとする一方で、町のビジョンに合致した事業(映画館・宿泊施設・文化施設等)へ転換・再投資を行う場合には、以下のような優遇措置を適用する「投資誘導ガイドライン」を策定することを提案する。 例:固定資産税の減免措置、投下資本に対する補助制度の創設、広報支援措置など</p> <p>これにより、景観形成、夜間観光、若年層・インバウンド誘客が期待できる。町は「ビジョンとインセンティブ(規制緩和・環境整備)」を提供し、民間企業の投資意欲を誘導することで町を変える。そのような「企業と共創し、長期的な視点で投資を呼び込むまちづくり」の視点を、本計画に強く反映していただきたい。</p>	<p>本町の南側には東京方面と伊豆・熱海方面をつなぐ国道135号が通っており、吉浜海岸やプール、千歳川の河口には親水護岸など観光資源が点在しています。</p> <p>また、飲食店をはじめ、大型店や娯楽施設などの民間施設が密集しており、経済活動のポテンシャルが高いエリアであると認識しております。</p> <p>ご提案の町の魅力向上に資する連携については、本町ならではのまちづくりの方策として、他部署とも研究をし、今後の参考とさせていただきます。</p>	参考意見

No.	意見	町の考え方等	対応
4	<p>「観光立町」は湯河原町において必須ですが、その前にまず町民が居ここの良い生活が出来ることが第一と考えます。</p> <p>デザイン立町をスローガンにまずデザインありきの政策を望みます。デザインとは形のみに限らず、ふるまい、言葉づかい等生活すべてです。</p> <p>デザインBESTの公共施設 →現町役場、惣湯テラス、駅前の寄り場、吉浜の■■氏所有のビル築、富士屋旅館等</p> <p>駅前広場は？(もう一步アイデアが必要)</p> <p>今後の政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街路樹を増やす ・公園の整備(緑を主体に) ・現町役場を改修し図書館と交換出来るでしょうか ・現町役場はほんのメインに、カフェ、ギャラリー、イベントスペース、エクササイズスペース等誰もが自由に使用出来る施設にする 	<p>本計画は古くから温泉や豊かな自然を生かした観光を町の基幹産業として育んできた本町が、今後、その歴史を大切にしながら、さらに一步進んだ「湯河原らしい」新しい観光立町の実現のために町民の皆様一人ひとりが担い手としての意識を育てていただけるよう、また、観光を通じた地域の自立的発展と持続可能な観光地の確立を目指すため策定するものです。</p> <p>いただいたご意見は、まちづくりや個別の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	参考意見